



発行日/2020年10月23日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

みみよい

51

ごあいさつ

芦田 今日子

お芋がおいしい季節になりました。食欲の秋、読書の秋、運動の秋ですね。

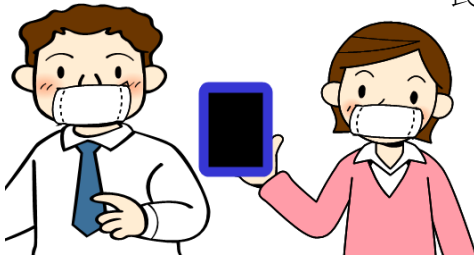
さて、ソーシャルディスタンス、マスク着用など、新しい生活様式になり、当たり前前のが当たり前でなくなっています。コミュニケーション障害と言われている私たちは、ちよつとしたおしゃべりもマスクに邪魔をされ、人と会うこともなかなかできず、不便な毎日です。

不便なのですが、ひとつだけ私にとって良かったことがあります。今までは誰かに何かを話しかけられると、なんとかして音声を聞き、口元を見て、内容を予測してと、しんどい会話をしていましたが、邪魔なマスクを全国民

みーんなつけていますから、この方法はお手上げです。ずつとお願ひしにくかったのですが、筆談器を差し出し「聞こえませんか！書いてください！」と、何の抵抗もなく言えるようになりました。

おもしろいことに、

以前は筆談器を差し出すと、ナニコレ？と逃げる人が多かったのですが、最近ではマスクで話すのが聞こえにくいとわかるのか、積極的に書いてくれる人も増え



ました。これも「新しい生活様式」です！
聞こえのセミナーを開催しました

8月29日(土)、石井 加代子さんをお招きし、「産後、聞こえなくなつて」をテーマに体験談を語っていただきました。元々は聞こえていた石井さん。妊娠・出産は体に負担がかかり、聞こえが落ちていきました。情報がしつかり入らなかつたり、ママ友とのおしゃべりも負担になってしまったり、聞こえにくい中での子育ては大変だったそうです。子どもとのコミュニケーションに悩む日々もあり、悲しくなつてしまったこともあったとか。一番わかつてほしいのは家族なのに、聞き返すと「もういい」と言われてしまふ淋しさも淡々と語られましたが、参加者のみなさんの共感を呼ぶお話でした。



そんな石井さんが、聞こえない人たちの集まり(難聴者協会)に出会い、少しずつ変わっていききました。「要約筆記」を初めて見たときの感動は、今でも忘れられないそうです。「話していることが文字で見える」。一生懸命相手の口の動きを読み取ることも、中途半端な理解のままにならずくともありません。何より、同じ悩みや経験をしているなかまのおしゃべりは、生活を豊かにしてくれます。

もじサロン 筆談会の部

文字で内容を確認しながら、おしゃべりを楽しむ交流の場です。
9月は参加申し込みがなく、お休みでした。1人でもお申し込みがあれば開催します。
お気軽にどうぞ。



次は

11月12日(木)

12月10日(木)

会場：4階D会議室

時間：午前10時～12時

「密」を避けるために人数制限をしています。事前にお申込みをお願いします。

(担当：芦田)

おしゃべり
しましょう！

今回は、難聴のなかま同士、またご家族でのご参加もありました。自分を理解してくれる人がそばにいることは、とても心強いですね。講師の石井さん、ステキなお話をありがとうございました。

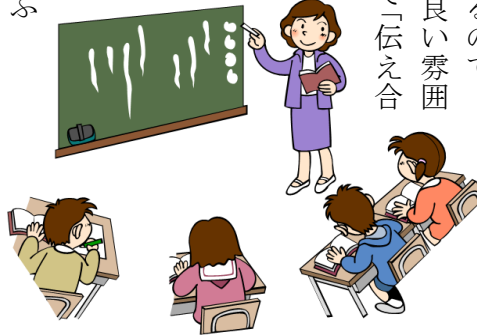


難聴者「コミュニケーション教室」

今までの受講生はほとんど女性でしたが、9月から始まった今年度は珍しく男性3名と女性1名。コミュニケーション方法を全12回の講座で学びます。

若い男性が多いので、いつもよりテンポ良く進めそうです。ただし、みなさんの表情を見ながら進めるのはいつもと同じ。すべての説明に文字のサポートがついているので、それを読んで内容を理解していただいています。他の受講生のちょっとした発言も文字でわかるので、ゆっくりですが、とても良い雰囲気です。みなさんが笑顔で「伝え合っている」姿は、講師をしている職員の励みになっています。

難聴者のためのコミュニケーションは、以前受講した方は申し込みができませんが、今年度はコロナ禍で手話を学ぶ場が減っているのか、「ダメ元で」とお申し込みくださった修了生が多かったです。定員を減らしていることもあり、受け入れできず心苦しいですし、手話を続けてくださっているかな、周囲の人とおしゃべりできているかな、と気になっています。



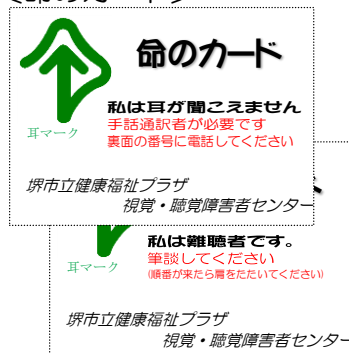
これからはインフルエンザにも注意しなければならぬ季節。「難聴者のためのコミュニケーション教室」も感染に気をつけて、最後まで楽しく学んでいただきたいと思います。

「聞こえない」を周囲に伝えるグッズ

マスクをつけることが日常になり、聞こえない・聞こえにくい方々にとってはますますコミュニケーションが難しくなっています。マスクで口元が隠れ、声をかけられていること自体に気づかなかったり、言葉が聞き取りにくくなったり。また、感染予防を考えると、周囲の方とのおしゃべりもつい遠慮してしまいますね。

災害時、特に発災から2、3日の間は、ご近所の方との「共助（近助）」が大切です。センターでも、地域の自治会や民生委員の方と、地域にお住いの聞こえない・聞こえにくい方をつなぐ活動をしてきました。ただ、今の時期、直接会って話をしたり、学習会をしたりすることも困難です。そこで、今回は近所の方に渡して読んでいただける冊子や、「聞こえない・聞こえにくい」ことを知ってもらうためのグッズを紹介します。3面の「安心連絡シート」も参考にしてくださいね。

〔命のカード〕



二つ折りのカード。外側には「自分が聞こえない」ことや手話・筆談が必要なが書いてあります。内側には緊急連絡先やかかりつけ医、薬、アレルギーの情報などを書く欄があります。

〔防災マニュアル〕



さかい聴覚障害者防災ネットワークが作ったマニュアル。周囲の方に読んでもらうためのマニュアルです。ご自身用のマニュアルもあります。

〔聴覚障害者への情報保障〕



NPO 法人MAMIE が作っている冊子。コロナ禍での配慮について、イラストでわかりやすく解説しています。(1冊300円)。

このほか、「医療機関で困ること」、「学校で困ること」を紹介した冊子も。

お問い合わせは直接法人へ。

「安心連絡シート」をご活用ください

堺市の各区で配布している「安心連絡シート」。利用しておられますか？

高齢の方や障害のある方を対象に、各区役所内にある社会福祉協議会区事務所で配布しています。表面には緊急時の連絡方法が書かれているので、万一の時に慌てずに対応できます。裏面には緊急時の連絡先、かかりつけ医や持病、薬の情報を記入できるので、救急隊や支援に入った人に素早く情報を伝えることができます。聞こえない・聞こえにくい方々の場合、「手話通訳が必要」・「要約筆記が必要」等も書き込んでおくといいいですね。携帯用の「命のカード」と併せてご活用ください。

〔情報記入面〕

〔表面は各区いろいろ〕

→ 救急時 の場合に伝えること／どんな状態か、着ち書いて説明する

本人氏名 ()
住 所 ()
* 目印になる建物など ()
生年月日 (明・大・昭 年 月 日生 () 歳)
主な疾患 ()
常用している薬 ()

緊 急 時 < 家族・親族の連絡先 >

連絡先(1)	連絡先(2)
氏名 () 続柄 () 住所 () 電話 () (携帯:)	氏名 () 続柄 () 住所 () 電話 () (携帯:)

かかりつけ病院・診療所の連絡先

病院・診療所名 () 電話 ()
() 科 主治医 () 先生

記入日: 令和 年 月

～シートの使い方～

- 1 安心連絡シートを自分の情報を入れる
- 2 内容を確認し、わかりやすいように「家庭用印」を貼る
- 3 緊急時の必要があれば書き込んでおく、記入忘れも確認しておく

※ 緊急時に発見しやすいようにしておく。

※ 緊急時に必要があれば書き込んでおく、記入忘れも確認しておく。

※ 緊急時に必要があれば書き込んでおく、記入忘れも確認しておく。

この用紙に關してのお問い合わせは…堺市社会福祉協議会中区事務所 072-270-4066



↑ 区によってデザインは異なりますが、自分の氏名・住所・生年月日などの基本情報と緊急連絡先、病名やいつも飲んでる薬などを書き込むようになっています。

なお、堺区では「安心連絡情報キット」として、クリアファイル・シール2枚と「安心連絡シート」をセットにして配布しています。シートを記入後、クリアファイルにはさんで筒状に丸めてシールで固定。これを冷蔵庫に入れ、冷蔵庫にも目印のシールを貼るというものです。救急隊が到着した時に冷蔵庫のシールを見て、「安心連絡シート」があることに気づいてもらえます。

ほかの区の方も、「安心連絡シート」を目立つ場所に貼っておくようにしましょう。

「備えあれば憂いなし」。日ごろの準備が大切です。

安心連絡情報キット 3点キット

①クリアファイル + ②シール2枚 + ③安心連絡シート

裏面の様々な場所で貼っているよ

使用方法

1. シートの記入
2. ファイルにはさむ
3. 筒状に丸めてシールを貼る
4. 冷蔵庫にも目印のシールを貼る

シートに「家族の連絡先」「かかりつけ医」などを記入しよう。

安心連絡シート・緊急時連絡先シールなど緊急時に必要な情報を入れよう。

冷蔵庫のドアポケットに入れやすいサイズになるように輪ゴムで止めよう。

安心連絡情報キットがある場所が分かるように冷蔵庫にもシールを貼っておこう！

もしも...のときに

119番通報

救急隊到着・シートの確認

救急車をお願いします

安心連絡シートが冷蔵庫のドアポケットに貼ってあります

安心連絡シートの内容を確認

発行：堺区役所健康福祉課・堺市社会福祉協議会中区事務所・堺市第1・第4地域福祉支援センター

手話奉仕員・通訳者養成講座

試験対策講座が始まりました

手話通訳者養成講座実践課程では、12月に実施される堺市手話通訳者登録試験合格を目指しての対策講座が始まりました。既修者も一緒に、国語や実技の学習に取り組んでいます。1日も早く現場で活動できるよう、頑張ってくださいね！

要約筆記者養成講座

実技が始まりました！

午前パソコンコース・午後手書きコースと別れて実技になりました。毎回新しいことを学ぶので、これからおもしろくなってくると思います。長い道のりに入ったところですが、応援しています！

センターの行事



行事はすべて、お申し込み制となっております。また、当日は検温とアルコールでの手指消毒にご協力いただいております。当日、体調不良の方は、ご参加をご遠慮願います。

11月13日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※要事前予約

11月19日(木) 14:00~16:00

「聞こえのセミナー」 ※要事前予約
使ってみようビデオ通話

11月21日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※要事前申込
コロナ対策のお話

12月11日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※要事前予約

12月3日(木)~9日(水)は「障害者週間」。例年開催している「障害者週間フェスティバル」は、規模を縮小して開催します。詳細は、同封のチラシをご覧ください。

12月13日(日)に「手話言語・コミュニケーション条例」のイベントを開催します。みなさまのお越しをお待ちしております。



ビデオライブラリーのおすすめ

「出発！気ままに趣味旅 長崎 カメラの旅」

写真好きの俳優・田中健と女優・松本莉緒が長崎の人気観光スポットを写真家・竹山透と共に旅する。2015年に世界文化遺産に登録された軍艦島と美しい花やイルミネーションに包まれたハウステンボスで、撮った写真を一般の人にどちらが好きか聞いて対決。また、夜景やイルミネーションがきれいに撮影できる、驚きのテクニックも紹介しています。

「趣味どきっ！ 簡単！便利！いまからスマホ 第1回 触って楽しいスマホ」(全9回)

スマホ初心者の松崎しげるさんと島崎和歌子さんが講師の池澤あやかさんから、スマホの基礎を学ぶシリーズです。1回目は初心者が戸惑うことの多い、スマホの選び方の基準とスマホ料金プラン、そしてスマホの操作の基本を学びます。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

要約筆記者実技研修(PC) 9/3・(手書) 9/26
手話通訳者研修 9/11・実技研修 10/15
新規登録者研修 9/5・9/15
登録者合同研修 10/2「人権学習」
要約筆記者研修(PC) 10/17「captiOnlineでの情報保障」

要約筆記者研修 11/25「要約力を高める」

要約筆記者実技研修(手書) 11/25「チームワーク」

手話通訳者研修 12/9「ろう者が求める通訳者とは(仮)」

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
8月	派遣数	187件	6件	9件	4件	9人	38本
	派遣人数	189人	11人	9人	16人	新規登録者：0人	
9月	派遣数	191件	7件	11件	3件	5人	24本
	派遣人数	200人	13人	20人	10人	新規登録者：0人	

